

## 注目ポイント！

明治の銀行「黒壁」の保存運動が発展して、ガラス文化の発信基地に。北国街道の伝統的町並みと新しいガラスとを組み合わせ、黒壁スクエアとして再生。



平成元年～平成15年で来街者数が約200万人増加！



黒壁でよみがえった北国街道の様子

## コラム

黒壁設立後1年近くかけて中心市街地に人を呼ぶ方法を官民が膝を突き合わせて議論。結果、ヨーロッパと比較して文化的認知度が低かったガラスに着目。古い町並みと新しいガラスとの新旧の対比によって新しい文化観光資源を創出した。平成元年にオープンしたときにたくさんの観光客と視察ラッシュにかえって危機感を感じ、「このままではまねされる」と長浜独自の景観をもつ北国街道に店舗を展開し、「黒壁スクエア」として他都市にはまねできない観光地を創りあげた。

## これまでの経緯

- 昭和62年(1987) 黒漆喰の壁から「黒壁銀行」という名で親しまれていた旧第百三十銀行長浜支店の保存・活用を目指し、地元有志が第三セクター設立を計画する。
- 昭和63年(1988) 長谷定雄氏(株)長谷ビル会長)を中心に第三セクター(株)黒壁を設立する。初代社長に同氏が就任する。
- 平成元年(1989) 黒壁スクエアがオープンする。
- 平成2年(1990) 黒壁スクエア第二次計画案(北国ガラス街道構想)を発表する。
- 平成4年(1992) 黒壁ガラス大学が開講する。黒壁第三次計画案(黒壁鑑賞館(現:美術館)建設等)を発表する。
- 平成9年(1997) 長浜オルゴール堂がオープンする。
- 平成11年(1999) 二代目黒壁社長に笹原司朗氏(琵琶倉庫株)会長)が就任する。
- 平成14年(2002) 三代目社長に高橋政之氏(高橋金属株)社長、長浜商工会議所会頭)が就任する。
- 平成16年(2004) 黒壁ガラス鑑賞館を黒壁美術館としてリニューアルオープンする。
- 平成17年(2005) 「海洋堂フィギュアミュージアム黒壁」がオープンする。

## 主な取り組み

### 黒壁スクエア

黒壁はリピーターづくりのために、一度にすべてを整備せず、何度かに分け、常に「変化」を作り出してきた。

特に、北国街道沿いには江戸末期から明治初期の長浜らしい町家を利用して、直営店、共同経営店、テナント店といった多様な店舗展開によって、10年余りかけて30店舗余のガラスの総合文化産業ゾーン「黒壁スクエア」を形成。

現在では年間約200万人の観光客を誘致している。



平日でも賑わう黒壁スクエアの様子



スタンドグラスフェスタ

### スタンドグラスフェスタ

黒壁と提携している店舗からなる黒壁グループ協議会が、夜の賑わいをつくることで、観光客の滞留時間を延ばして宿泊型観光に結び付けるとともに、地元の方にも黒壁を楽しんでもらおうと知恵を絞り、ガラスとあかりを組み合わせた夜のイベント「スタンドグラス・フェスタ」を開催。

また、地元住民で組織する北国街道まちづくり協議会と連携し、夜のあかりとガラスを組み合わせたイベントを、季節ごとに実施。

### ガラス工房

ガラス工房が黒壁の心臓部。黒壁には吹きガラス、スタンドグラス、エンレービング等の様々なガラス工房があり、工芸品の製作活動の他、体験教室を開講。ガラスに対する認識を高め、リピーターづくりを進めている。



吹きガラス工房

### 旧家の修復

18世紀はじめの町家を修復し、広域観光の情報発信基地、長浜の町家観光拠点、観光客の休憩場所、観光客が気軽に立ち寄れる案内所として整備・活用。

ガラスと好対照のもう一つの主役である。



町屋を活用した情報センター

#### 問い合わせ先

長浜市観光振興課

Tel: 0749-65-6521

(株)黒壁

Tel: 0749-65-2330 <http://www.kurokabe.co.jp/>